

エイザンスミレ

Viola eizanensis (Makino) Makino

スミレ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

県内における生育地が限られ、個体数も少ない。(現況:R-)

形態

草本。草丈は5~15cm。葉は普通大きく3全裂し、両側の裂片がさらに深裂している。一見5小葉に見えるものもあるが、ヒゴスミレのように基部から5裂することは無い。それぞれの裂片も深裂し鋸歯も目立つ。果実期の葉はしばしば大型となり、分裂も少なく、卵形の3小葉になることが多い。花は淡紅色が多く、ときに白花もあり、芳香がある。

国内分布

本州、四国、九州。

県内分布

南加賀区。

生態など

多年生。根茎は短くて太く、長い白色の根を少数つける。花期は4~5月。スギ林下でも少し光が入ればよく花をつける。

生育環境

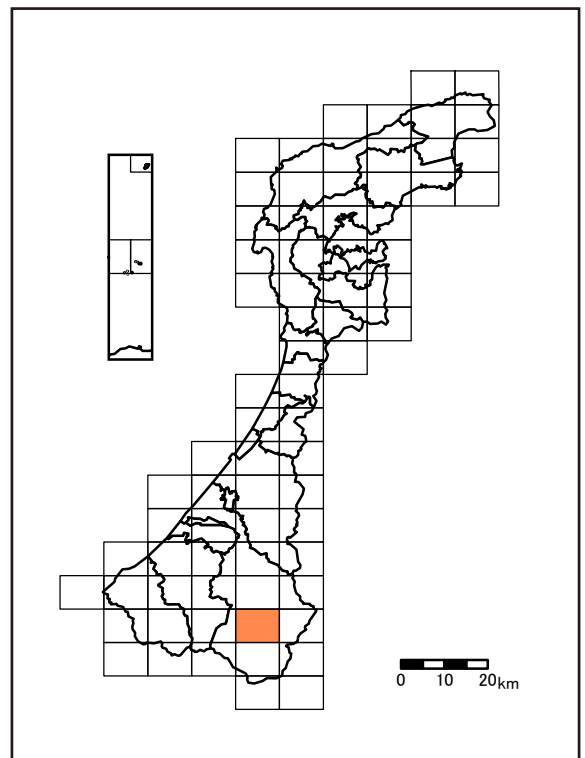
山地の木陰。

危険要因

園芸採取、産地局限。



白井伸和・2004年6月1日



県内の分布